

大分県芸術文化友の会びび
有料メンバー様限定



芸術文化教養講座



日時

12 / 23 (火)

[18:30~20:00]

日本人初の 西洋音楽家・伊東マンショ

～大分は西洋音楽発祥の地だけじゃない!～

大分は、キリスト教の伝来とともに西洋文化を享受し、教会では地域の住民が聖歌を歌うなど、「西洋音楽発祥の地」として名高い。キリシタン大名の名代として1582年ローマへ渡った伊東マンショ（大友宗麟の妹の娘の夫の妹の子、千々石ミゲル、中浦ジュリアン、原マルチノ。マンショとミゲルはポルトガル・エヴォラ大聖堂でオルガンを演奏し、また8年後に帰国した際、豊臣秀吉にローマより持ち帰った楽器での御前演奏を。その演奏が大好評で秀吉から3回もアンコールがあったと伝えられています。マンショは、日本人初の西洋音楽家と言って良いのではないのでしょうか。この講座では彼が聴いたり演奏したりした音楽を解説します。

講師／竹井 成美 宮崎大学名誉教授

故郷大分が「西洋音楽発祥の地」であることにこだわり、大分中世音楽研究会の指導・指揮を通して、16世紀の東西交流史を音楽的視点から研究・発表している。著書に『南蛮音楽その光と影～ザビエルが伝えた祈りの歌』（1995、音楽之友社）、『音楽を見る!～教育的視点による平均律・五線譜・ドレミの誕生の歴史』（1997、音楽之友社）など。私家版CDを添付した『マンショからオラショまで（その1）（その2）』『サカラメンタ提音が語るもの』などがある。



日時

2026. 1 / 30 (金)

[18:30~20:00]

クセつよ!クラシック音楽

～ユニークすぎる、クラシックの世界へようこそ～

クラシック音楽って、『お堅い・難しい・眠い・歌詞がないからわからない』そんなイメージありませんか?でも実は、ちょっとクセが強くて、ちょっと笑える“ツッコミどころ満載”な曲たちも存在します。「これ本気で作ったの!」「この記号どういう意味!」と楽譜を見て目を疑うような曲、演奏の演出でびっくりする曲。そんな“クセがつよい”クラシックを、映像や音楽とともに音楽の知識が無くても楽しめるよう、わかりやすくご紹介します。「知らない曲でも、こんなに面白いんだ!」「クラシックって、もっと自由でいいんだ!」そんな発見がある、ちょっと意外なクラシック講座です。

講師／森口 真司 大分県立芸術文化短期大学教授

大阪府出身。京都大学文学部を経て1995年東京藝術大学指揮科大学院修了。指揮法を田中良和、遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘、岩城宏之の各氏に師事。大学院修了すぐプラハの春国際音楽コンクール指揮部門に於いて第3位受賞(1位なし)、同時にプラハの春国際音楽祭に出演しプラハ放送交響楽団を指揮。オペラ指揮者としてこれまで30を越す作品を100回以上指揮するほか、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団など全国各地の主要なオーケストラに客演している。

会場 iichiko総合文化センター 地下1F
iichiko SpaceBe 映像小ホール

申込受付 11月13日(木)10:00より

※各講座定員50名

※1会員様あたり2名までお申込みできます

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます

講座特設ページ



申込方法 いずれかの方法でお申込みください

《 窓口 》 iichiko総合文化センター1階インフォメーションにて 《 電話 》 097-533-4005 《 インターネット 》 チケット予約ページより
(平日10:00~17:00)

主催・お問合せ／iichiko総合文化センター〔公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団〕 大分市高砂町2-33 ☎097-533-4004(平日10:00~17:00)
特別協賛／三和酒類株式会社